

## 実施状況報告

事業名	企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成27年10月10日(土)～11月23日(月祝)
場所	総合科学博物館 企画展示室
参加者	11,878人

愛媛県総合科学博物館において、企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」を実施しました。約150年におよぶ電化製品の歴史と技術の変遷について、実物資料の展示で紹介、解説を行いました。

展示資料は総合科学博物館の館藏品と増田健一氏による昭和レトロ家電で構成しました。

当時の家電製品を実際に使っていた世代からは、懐かしい気持ちやそのころを思い出して嬉しかったという感想を、若い世代からは、古い家電製品から逆に新しさを感じ、当時のものづくりの姿勢から元気をもらったという感想をいただきました。

開催期間中には講演会、ギャラリートーク、展示ツアーなどのイベントも実施しました。



事業名	講演会「夢とワクワクがいっぱい 昭和レトロ家電」
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成 27 年 11 月 8 日(日)14:00～15:30
場所	総合科学博物館 多目的ホール
参加者	100 名

総合科学博物館で開催した企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」の関連イベントとして、家電製品に関する科学講演会を実施しました。

講師は、大阪市立住まいのミュージアム特別研究員の増田健一氏でした。同氏は30年に渡る昭和レトロ家電コレクターでもあり、昭和30年代の家電製品の魅力やコレクション生活のエピソードを映像や実物資料による実演も交えながら楽しく紹介しました。

開催中の企画展では増田健一氏のコレクション資料も同時に展示しました。

講演終了後、多くの質疑応答があり参加者の関心が高いことが伺えました。講演者は講演終了後も参加者と昭和レトロ家電と当時の様子について熱心に情報交換していました。



事業名	ギャラリートーク 技術者視点の愛媛の家電おもしろむかし話
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成 27 年 11 月 15 日(土)13:30～14:30
場所	総合科学博物館 企画展示室
参加者	8名

総合科学博物館で開催した企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」の関連イベントとして、家電製品の開発をしていた技術者によるギャラリートークを実施しました。展示の開催中に2回実施したうちの2回目でした。

講師は松下寿電子工業(現パナソニックヘルスケア)のOBである宮川正明氏でした。愛媛における家電製品のエピソードについて、展示資料を中心に解説を行っていただきました。特に、VHSとベータによるビデオテープの規格競争に決着をつけたのは本県の技術と製品であったエピソードなど、当時を知る技術者の貴重な体験談が聞くことができました。

普段表に出てこない技術者の裏話に、参加者からは熱心が質問が多く出され、大いに盛り上がりました。



事業名	企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」展示ツアー&なつかし体験
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成27年11月の平日に実施(7回)
場所	総合科学博物館 企画展示室
参加者	51名

総合科学博物館で開催した企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」の関連イベントとして、平日に展示ツアーと展示資料の体験会を実施しました。予約制で個人から団体まで対応しました。実施時間は11時と15時とし、1時間のコースとしました。

親子や大人のグループ、自治会のサークルなど、いろいろな世代や団体による参加がありました。

参加者からは、展示の見どころや資料の隠れたメッセージが分かるようになり、より深く展示物を味わえると好評でした。



事業名	開館記念イベント
実施主体名	総合科学博物館
日時	平成27年11月8日
場所	総合科学博物館
参加者	2,669名

総合科学博物館の開館21周年を記念して、常設展示室の観覧料を無料としたほか、館内で様々なイベントを開催しました。エントランスホールでは「タネで遊ぼう!」「タネ模型と昆虫グライダーを作ろう」を行いました。また、企画展示室では、企画展「なつかしの家電 おどろきの道具」を開催し、多目的ホールでは企画展関連事業として増田健一講演会「夢とワクワクがいっぱい 昭和レトロ家電」を行いました。プラネタリウムでは、11月21日から新番組「ライト・ビフォア・クリスマス」の先行投影を含む1日5回の特別スケジュールで投影を行い、投影番組ごとに、それぞれ入場者プレゼントを配布しました。